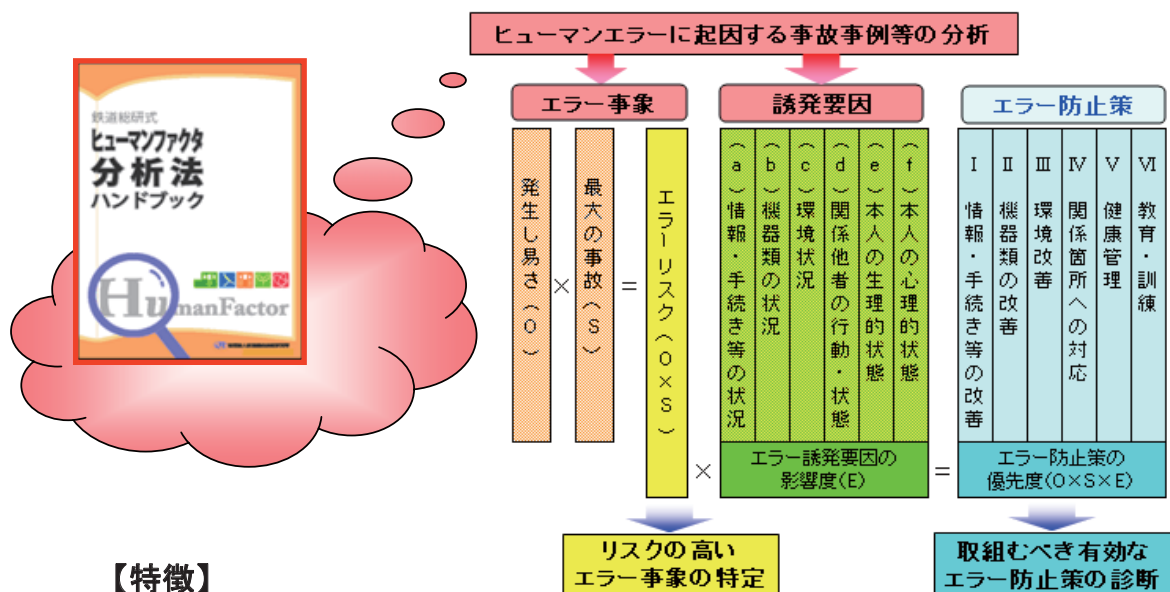


エラー誘発要因を考慮した 運転作業のリスク評価手法

【概要】

効果的なエラー防止策の検討判断には、“どのような場面”における“どのようなヒューマンエラー”が“どのような頻度”で“どのような被害”の事故に繋がる可能性があるのかを把握することが必要です。

この判断を支援するため、運転作業におけるヒューマンエラーのリスク評価手法を作成しました。



【特徴】

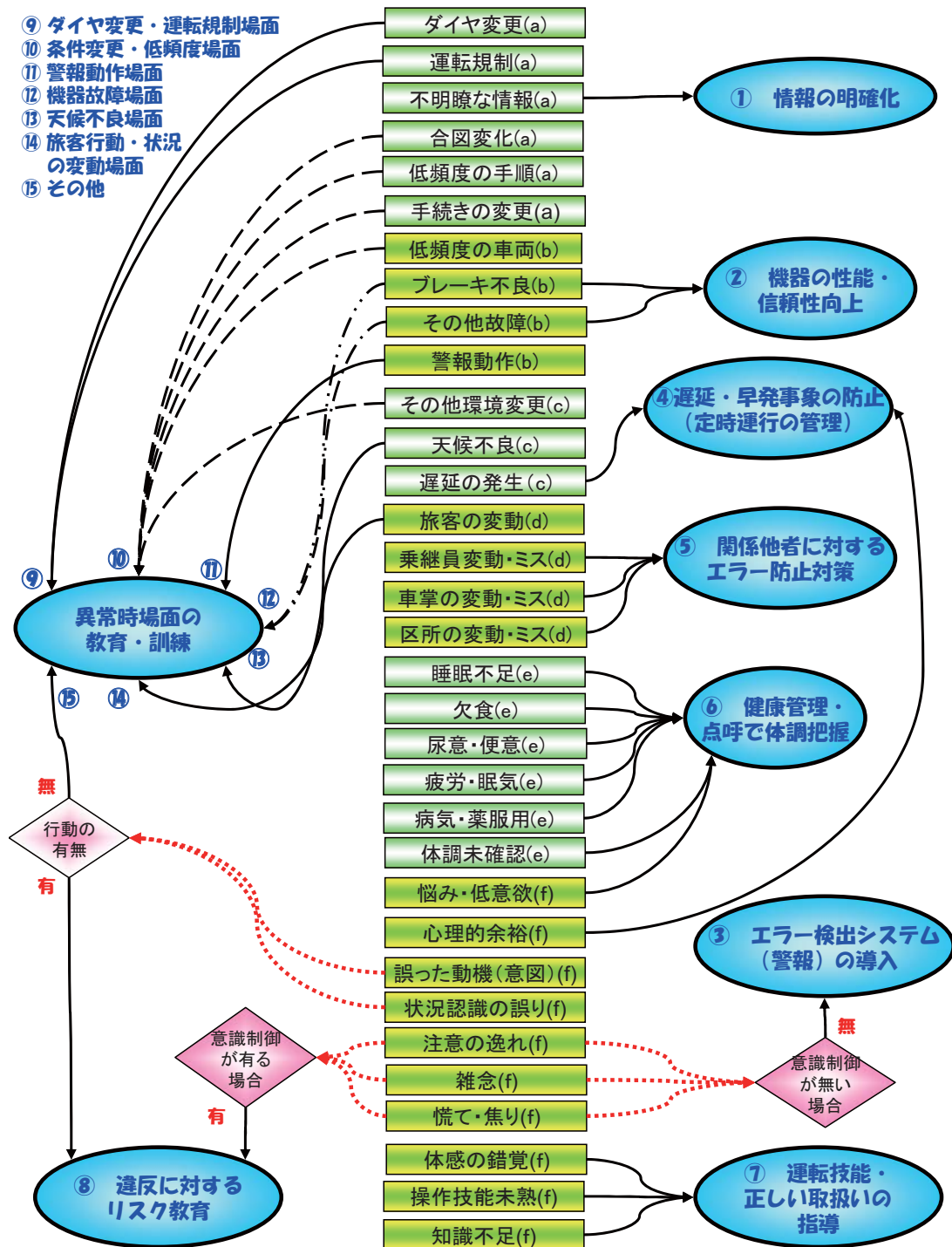
本手法では、まず、エラーの頻度とそのエラーに起因する最大の事故からリスクの値を算出します。

的確なエラー防止のためには、リスクの高い事象の特定だけでなく、その誘発要因を考慮する必要があります。そこで、リスク値と誘発要因の影響度を組合せて、対応するエラー防止策の優先度を定量的に算出します。

【用途】

区所毎にエラー事象とその原因を入力することで、その区所の状況に見合った効果的なエラー防止策の特定が可能となります。

誘発要因の例とエラー防止策の関連づけ



特許出願中